

4

April

2008 NO.638



新・永住宣言
～来て！見て！住んで！～
や・ま・き・た

広報

やまきた



特集

平成20年度当初予算



今月の表紙 山北山の菜の花

山北町のホームページ

<http://www.town.yamakita.kanagawa.jp>

平成20年度 当初予算

— 総額79億6千万円 —

「子育て支援・健康づくり・高齢者福祉制度・安全、
安心な生活環境の整備・自然環境の保全整備」の推進による
町民一人ひとりが健康で潤いのあるまちづくり

平成20年度の当初予算が3月17日町議会で可決されました。
予算総額は、79億6,261万円、前年度と比べて11.0%の減となりました。
このうち、町の行政運営の基本的な経費である一般会計は48億5,398万円、特別会計は、
後期高齢者医療制度の開始により後期高齢者医療特別会計が新設されたため10の特別会計と
なり総額は28億0,808万円、水道事業会計は3億0,055万円となっています。
平成20年度の予算編成にあたっては、第4次総合計画中期基本計画の、7つの施策を基本
とし、町民が真に求める諸課題に対応するため、全ての既存事業を含め、町民の視点に立って
「見直しと選択」を柱に、限られた財源を効率的・効果的に活用し、町民一人ひとりが健康で潤
いのあるまちづくりをめざした予算編成としました。

一般会計

予算総額は2.5%減

一般会計の予算は、48億5,398万円。前年度と比べて1億2,263万円、2.5%の減額となりました。

歳入

一般会計の歳入には、町税や使用料、積立金からの繰入金など、直接町に入ってくる「自主財源」と国・県からの補助金や地方交付税、町債など、国・県に頼る「依存財源」があります。

自主財源

20年度予算は、自主財源が27億8,172万円、歳入の57.3%を占め、19年度と比べて9,381万円の減額となっております。自主財源の大半が町民税や固定資産税などの町税で、21億0,978万円、歳入の43.5%を占めています。

依存財源

依存財源は、20億7,226万円で、歳入の42.7%を占め、前年度より2,882万円の減額となっております。

その内の主なものは地方交付税と国・県支出金で、併せて14億6,916万円、歳入の30.3%を占めています。

国庫支出金は、まちづくり交付金の事業量の減により前年度より1億0,250万円の大幅な減額となりましたが、県支出金では、後期高齢者医療制度の創設に伴い、保険基盤安定制度拠出金の増や水源環境保全・再生交付金事業の事業量の増などにより増額となり、地方交付税は、地方再生対策費の創設により前年度より3,500万円の増額となっております。

歳出

歳出は、第4次総合計画中期基本計画で計画された施策・事業を着実に実施するため、子育て支援と健康づくり、高齢者福祉制度の充実、安全・安心な生活環境の整備、自然環境の保全整備を推進し、町民生活に密着した施策や町民福祉を低下させない予算編成としました。

主な事業

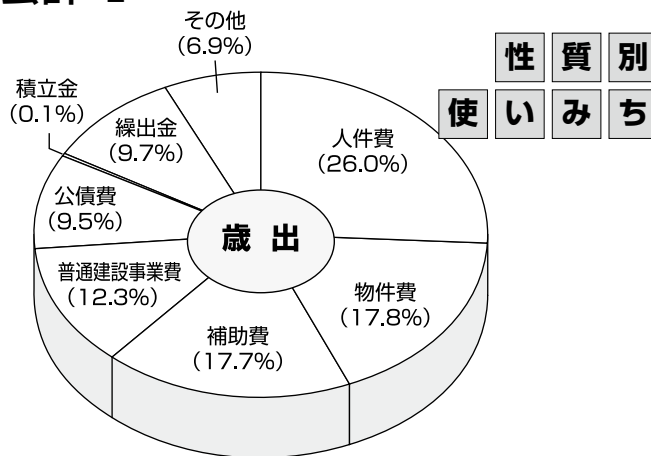
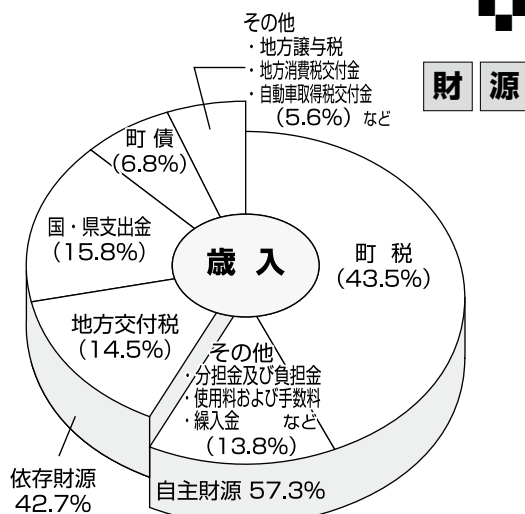
- 町独自で小児医療費助成の対象年齢を6歳から小学校修了まで引き上げる小児医療費助成事業
 - 妊婦健康診査の助成回数を2回から5回に拡大
 - 「健康市民の町 山北」をめざし、個々のニーズやライフスタイルに応じた健康づくりを応援するために、町民健康マイスター講座開催事業
 - 子育て支援、スポーツ、健康づくりなどの活動を実践している団体・NPO等の活動現場を訪ね、率直な意見交換を行う「ほのぼの車座ミーティング」を開催
 - 地域再生をめざし特色ある町づくりを推進するまちづくり交付金事業（町道4路線整備事業、観光情報板設置事業、駅周辺魅力づくり検討事業、河村城址歴史公園整備事業、町内循環バス運行事業）
 - 県と市町村が連携し実施する水源環境保全・再生交付金事業（地域水源林整備支援事業、河川・水路自然浄化対策推進事業、地下水保全対策推進事業）
- 以上の事業等を含めた第4次総合計画中期基本計画の重点施策を基本に、町民のみなさまが安全に安心して生活することができる、教育、防災、福祉、医療などに重点をおいた予算編成となっています。

20年度の予算規模と前年度の比較

(単位：万円)

会計名	平成20年度	平成19年度	増減額	増減率
一般会計	48億5,398	49億7,661	1億2,263減	2.5%減
特別会計	28億0,808	37億0,758	8億9,950減	24.3%減
水道事業会計	3億0,055	2億6,666	3,389増	12.7%増
総額	79億6,261	89億5,085	9億8,824減	11.0%減

一般会計



財源内容

(単位：万円)

項目	予算額	増減額	増減率	
自主財源	町税	21億0,978	6,228減	2.9%減
	その他	6億7,194	3,153減	4.5%減
	計	27億8,172	9,381減	3.3%減
依存財源	地方交付税	7億0,400	3,500増	5.2%増
	国・県支出金	7億6,516	5,102減	6.3%減
	町債	3億3,010	2,480減	7.0%減
	その他	2億7,300	1,200増	4.6%増
計	20億7,226	2,882減	1.4%減	
合計	48億5,398	1億2,263減	2.5%減	

性質別の使いみち

(単位：万円)






項目	予算額	増減額	増減率
人件費	12億6,395	7,686減	5.7%減
物件費	8億6,124	5,582減	6.1%減
補助費	8億6,072	1億0,635増	14.1%増
普通建設事業費	5億9,488	6,925減	10.4%減
公債費	4億5,910	1,378増	3.1%増
積立金	692	43増	6.6%増
繰出金	4億7,176	2,899減	5.8%減
その他	3億3,541	1,227減	3.5%減
合計	48億5,398	1億2,263減	2.5%減

目的別の予算額とおもな事業

区 分	予 算 額	お も な 事 業
議 会 費	9,318万円 (445万円増)	● 議会だよりの発行
総 務 費	12億1,723万円 (1億1,499万円減)	● 総合計画策定事業 ● 花と水の交流圏づくり推進事業（大野山散策道整備等） ● 学校統廃合検討調査事業 ● ほのぼの車座ミーティング開催事業 ● 電算管理運用事業 ● まちづくり交付金事業（町道4路線整備、河村城址歴史公園整備事業、観光情報板設置、ハイブリッド型街灯整備事業、駅周辺魅力づくり検討事業、町内循環バス運行事業） ● 水源環境保全・再生交付金事業（地域水源林整備支援事業、河川・水路自然浄化対策推進事業、地下水保全対策推進事業） ● 町税賦課徴収事業
民 生 費	8億9,229万円 (7,215万円増)	● 神奈川県後期高齢者医療運営事業 ● 在宅障害者福祉対策推進事業 ● 障害者自立支援給付事業 ● 小児医療助成事業（町独自で小学校修了まで医療費を助成） ● 子育て支援事業 ● 児童手当支給事業 ● 保育園運営事業
衛 生 費	5億9,571万円 (1億0,999万円減)	● 母子保健事業（妊婦検診助成回数を拡大） ● 健康福祉センター管理事業 ● 町民健康マイスター講座開催事業 ● 予防接種事業 ● 健康診査・相談等事業 ● 地球温暖化防止対策推進事業 ● 塵芥処理事業 ● こみ減量資源化事業
農 林 水 産 業 費	2億5,305万円 (4,698万円減)	● 農業活性化推進事業 ● 産業交流事業 ● 中山間地域総合整備事業（浅間山農道整備、日向用水路整備ほか） ● 農道用水維持管理事業（川村用水改修等） ● 農業用道路横断工作物緊急耐震対策事業（向山橋） ● 水源の森林づくり協力協約推進事業 ● 森林ボランティア実践事業
商 工 費	9,841万円 (355万円増)	● 観光パンフレット作成 ● 丹沢湖イルミネーションの増設 ● 観光振興事業
土 木 費	5億0,247万円 (8,122万円増)	● 道路新設改良事業（嵐線、鍛冶屋敷高杉線、鍛冶屋敷線改良） ● 町道維持補修事業 ● 河川維持管理事業 ● 都市計画調整事業 ● 町営住宅管理事業
消 防 費	2億6,992万円 (1,771万円増)	● 消防施設整備事業 ● 防災設備等維持管理事業（防災無線デジタル化、全国瞬時警報システム整備）
教 育 費	4億2,640万円 (4,177万円減)	● 英語補助教員設置事業 ● 適応指導教室運営事業 ● 奨学補助事業 ● 学校施設維持管理運営事業（三保中プール改修等） ● 幼稚園運営事業 ● 放課後子どもプラン推進事業 ● 丹沢湖マラソン大会開催事業 ● カヌーのまちづくり推進事業
災 害 復 旧 費	150万円 (増減なし)	● 災害復旧に係る経費
公 債 費	4億5,910万円 (1,378万円増)	● 元金 3億7,994万円 ● 利子 7,916万円
諸 支 出 金	363万円 (166万円増)	● 土地開発公社への利子補給
予 備 費	4,109万円 (342万円減)	
計	48億5,398万円 (1億2,263万円減)	

※（ ）内は前年度対比増減



 農 林 水 産 業 費 2万0,200円 (3,384円減)	 衛 生 費 4万7,554円 (7,917円減)	 民 生 費 7万1,229円 (6,763円増)	 総 務 費 9万7,169円 (7,550円減)	 議 会 費 7,438円 (463円増)	20年度予算で 町民1人に使われる 一般会計中 町のお金 38万7,481円 (3,700円減) 目的別歳出額を、3月1日現在の 人口12,527人で算出した金額
--	--	--	--	---	--

特別会計

国民健康保険事業

国民健康保険事業の医療費の一般被保険者分は、加入者の増により47.7%の増、退職被保険者分は対象者の減により62.0%の減、老人保健拠出金については、制度改正により83.0%の減、新規事業として後期高齢者支援金、特定健康診査等事業を計上し、予算総額は11億1,403万円で前年度と比べて3.8%の減となっています。

老人保健医療

老人保健医療は、老人保健法の一部改正により、平成20年4月から後期高齢者医療制度に移行するため、3月診療分及び月遅れ請求・過誤分を計上し、予算総額は、1億1,784万円で前年度と比べて89.8%の減となっています。

この会計では、医療費が歳出の95%以上を占めています。

後期高齢者医療

後期高齢者医療は、今後、急速に高齢化が進行する中、高齢者の医療費は益々増大することが見込まれる

ことから、国民皆保険を維持し、将来にわたり安定的で持続可能なものにするため、高齢者世代と現役世代の負担を明確化し、世代間で公平に負担する新たな医療制度が創設されたことにより、設置するものです。

なお、広域連合との事務の分担により、保険料徴収と申請や相談などの窓口事務が町の事務となっており、予算総額は1億5,204万円となっています。

災害給付見舞事業

この会計は、火災や風水害により被害を受けた町民の方々に見舞金などをお渡しするもので、予算額は前年度と同額の900万円となっています。

下水道事業

公共下水道は、ぐみの木地区の整備を推進します。今年度は新たに、水源環境保全・再生事業を活用し、水源地域である三保地区を対象とした町設置型合併処理浄化槽の整備事業を始めます。この事業は、町が高度処理型合併処理浄化槽を設置し、維持管理を行うものです。予算総額は5億4,993万円となり前年度比25.0%の増となっています。

山北・共和・三保財産区

山北・共和・三保財産区は、それぞれの管理会運営費や造林地の保育管理費などの予算となっています。

介護保険事業

介護保険事業は、介護サービスを効果的に提供し、自立した日常生活を送るための支援の充実を図るとともに、予防重視への支援の充実を進めるための予算を計上しました。

予算額は8億0,143万円で、前年度と比べて2.5%の減となっています。また、歳出については、介護サービス給付費と地域支援事業費で、全体の95.2%となっています。

商品券

この会計は、商品券を発行し、町の経済の活性化と町内の商工業の振興に寄与することを目的としています。予算額は1,299万円で、歳入は商品券売払収入等、歳出は商品券換金代金等となっています。

特別会計の内訳 (単位：万円)

会計名	予算額	増減額 (増減率)
国民健康保険事業	11億1,403	4,354減 (3.8%減)
老人保健医療	1億1,784	10億3,845減 (89.8%減)
後期高齢者医療	1億5,204	皆増
災害給付見舞事業	900	増減なし
下水道事業	5億4,993	1億1,015 (25.0%増)
山北財産区	1,075	162減 (13.1%減)
共和財産区	2,793	5,456減 (66.1%減)
三保財産区	1,214	11減 (0.9%減)
介護保険事業	8億0,143	2,096減 (2.5%減)
商品券	1,299	245減 (15.9%減)
計	28億0,808	8億9,950 (24.3%減)

水道事業会計

水道事業では、町民の方々に安全でおいしい水を供給しています。

主な事業は、JR水管橋改修工事や共和地区配水管布設替工事などを行い、水道施設の整備拡充を実施します。

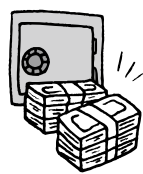
予算額は3億0,055万円で、前年度と比べて12.7%の増となっています。

その他



3,690円
(81円減)

公債費



3万6,649円
(1,646円増)

教育費



3万4,038円
(2,761円減)

消防費



2万1,547円
(1,722円増)

土木費



4万0,111円
(6,999円増)

商工費



7,856円
(400円増)

地方債の状況

現在、町の地方債現在高は、平成20年度末（当初予算ベース）では41億3,656万円となり、平成10年度から比較すると、約11億6,590万円の増となっております。その大きな要因は、国の財政難により、地方交付税を減額した不足分を補う臨時財政対策債と国の恒久減税により生じた影響額を補う減税補てん債として借り入れたことによるものです。

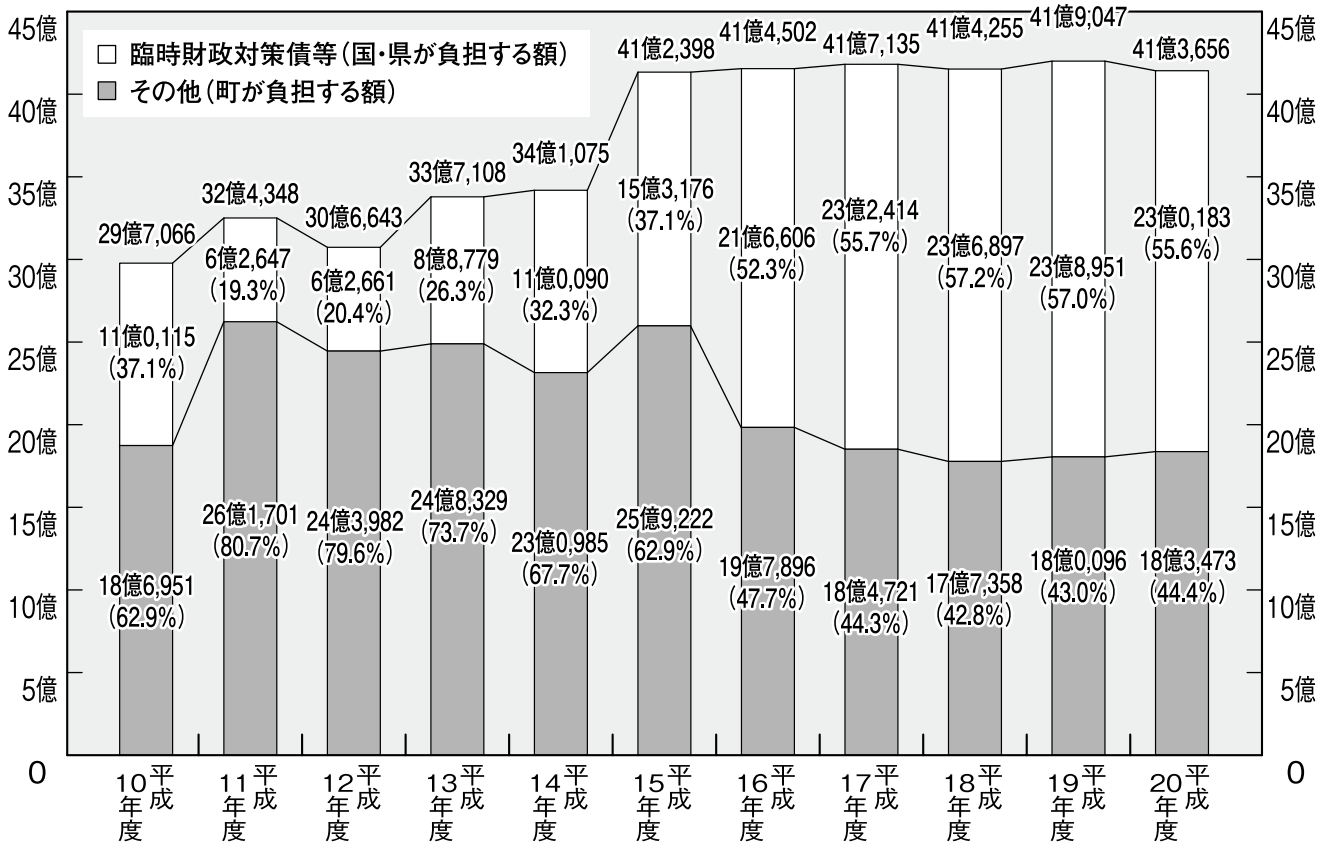
この臨時財政対策債約16億9,019万円及び減税補てん債約3億7,466万円の総額約20億6,485万円につきましては、国の政策に基づいて借り入れ、その元利償還金の全額が、後年度の地方交付税に算入されております。

また、この他にも地域総合整備事業などの約2億3,698万円の地方債についても地方交付税に算入されますので、地方交付税に算入される総額は、約23億0,183万円になります。

なお、地方交付税に算入される総額23億0,183万円を除いた平成20年度末地方債残高18億3,473万円（一般財源で補う額）を平成10年度と比較すると、3,478万円の減額となります。

地方債現在高の推移

(単位:万円)



用語メモ

【地方債】

地方公共団体が公共工事などの資金調達のために負担する債務で、その返済が年度を越えて行われるものです。町債がこれにあたります。

【臨時財政対策債】

長引く不況の影響で国税収入の減少による地方交付税の財源不足分を賄うため、地方税法第5条の特例として発行する地方債のことです。なお、この臨時財政対策債の元利償還金相当額については、その全額が後年度地方交付税に算入されます。

【減税補てん債】

国の減税政策により、個人住民税の減税が行われた場合など、地方自治体の減収額を埋めるために許可される地方債のことです。臨時財政対策債と同じように元利償還金相当額については、その全額が後年度地方交付税に算入されます。

【公債費】

町が借り入れた地方債の元利償還金および一時借入金利子の合計額のことです。

20年度の重点施策

総額21億2,818万円

おもな事業 山北町第4次総合計画で定める「7つの施策目標」

1 人と自然が共に生きるまちづくり

生活空間の整備

- ・まちづくり交付金事業
(町道4路線整備、河村城址歴史公園整備事業、町内循環バス運行事業、情報板設置事業等)
- ・水源環境保全・再生交付金事業
(地域水源林整備支援事業、河川・水路自然浄化対策推進事業等)
- ・花と水の交流圏づくり推進事業
(大野山散策道整備等)
- ・道路新設改良事業
(嵐線測量委託等、鍛冶屋敷高杉線改良、鍛冶屋敷線改良)



2 健康とゆとりの福祉のまちづくり

保健・福祉の推進

- ・在宅障害者福祉対策推進事業
- ・障害者自立支援給付事業
- ・小児医療費助成事業 (町独自に医療費助成を小学校修了まで助成)
- ・児童手当支給事業
- ・母子保健事業 (妊婦健康診査の助成回数を2回から5回に拡大)
- ・子育て支援事業 (子育て支援センター事業等)
- ・健康診査・相談等事業
- ・町民健康マイスター講座開催事業
- ・神奈川県後期高齢者医療運営事業
- ・高齢者保健福祉介護計画策定事業



3 学習と文化の香り高いまちづくり

教育・文化の振興

- ・学校統廃合検討調査事業
- ・教育振興事業
(県営電気助成事業：山北中学校の教育備品購入等)
- ・幼稚園運営事業
- ・放課後子どもプラン推進事業
- ・丹沢湖マラソン大会開催事業



4 安全で豊かな暮らしと住みよいまちづくり

生活基盤の整備

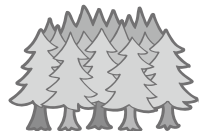
- ・地球温暖化防止対策推進事業
- ・塵芥処理事業
(可燃ごみ収集運搬委託、足柄西部清掃組合負担金等)
- ・ごみ減量再資源化事業
(プラスチック製容器包装の分別収集、資源ごみ収集運搬委託等)
- ・火葬業務事業 (県西地域広域斎場建設協議会負担金等)
- ・防災設備等維持管理事業
(防災無線デジタル化、全国瞬時警報システム整備等)
- ・防災対策備品等整備事業 (防災資機材購入等)



5 地域の特性を生かした産業振興のまちづくり

産業の振興

- ・農道、用水維持管理事業 (農とみどりの整備事業)
- ・中山間地域総合整備事業
(浅間山農道整備工事・日向用水路整備工事等)
- ・農業用道路横断工作物緊急耐震対策事業 (向山橋)
- ・水源の森林づくり協力協約推進事業
- ・森林ボランティア実践事業
- ・観光振興事業



6 個性豊かな魅力あるまちづくり

コミュニティの振興

- ・ほのぼの車座ミーティング開催事業
(子育て支援・健康づくり等の各種団体と意見交換)
- ・コミュニティ助成事業
(花いっぱい推進協議会等)
- ・山北町まちづくり懇話会推進事業
(町の課題等について調査研究活動を行う)
- ・水源地域交流の里づくり推進事業
(自然体験交流教室の開催)
- ・行政ホームページ推進事業



7 町民参加の開かれたまちづくり

行財政の推進

- ・総合計画策定事業 (山北町第4次総合計画後期基本計画策定)
- ・財産管理事業
- ・電算管理運用事業
- ・固定資産等評価事業
- ・町税賦課徴収事業 (徴収指導員の導入等)



平成20年
4月から

新しい特定健康診査・特定保健指導が始まります

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、平成20年4月から内臓脂肪型肥満や生活習慣病に対する特定健康診査（以下、特定健診）特定保健指導が始まります。医療保険者（国保・健保組合・共済組合等）ごとに、40歳から74歳までの被保険者・被扶養者を対象に特定健診・特定保健指導が実施されます。

特定健診が始まります

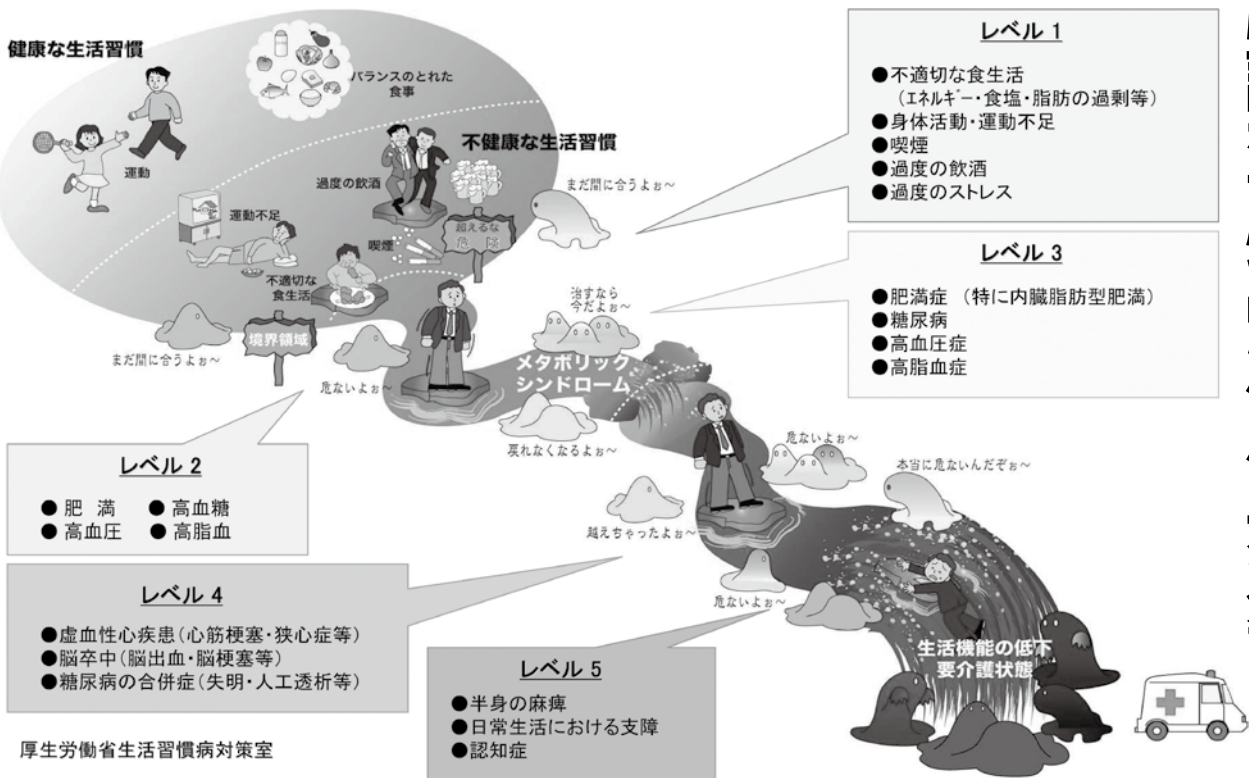
これまでの基本健康診査（以下、基本健診）から特定健診に変わります。対象は、40歳から74歳のすべての方で、山北町では国民健康保険の加入者が対象です。新たに腹囲の測定があるなど、健診項目を一部見直しメタボリックシンドロームに着目した健診に変わります。

30歳から39歳の方は、これまでどおり山北町の基本健診を受けることができます。（健診項目が一部変わる予定です。）

特定保健指導が始まります

特定健診の結果から、メタボリックシンドローム予備群および該当者の方が、保健師・栄養士・運動指導士による保健指導のサポートを受け、自ら生活習慣の改善に取り組めます。

生活習慣病のイメージ



▲厚生労働省ホームページより掲載

メタボリックシンドロームの基準

内臓脂肪型肥満
男性85cm以上 女性90cm以上

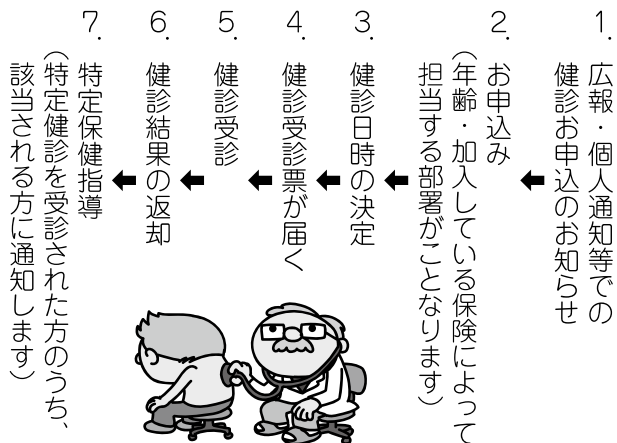
⊕ 上記に加え以下2項目以上が該当
(1項目が該当の場合は予備群)

- 高血糖 HbA1c5.2%以上
- 脂質異常
中性脂肪 150mg/dl以上かつ/または
HDLコレステロール40mg/dl未満
- 高血圧
収縮期血圧 130mg/dl以上かつ/または
拡張期血圧85mmHg以上

メタボリックシンドローム

基本健診および

特定健診・特定保健指導の流れ



メタボリックシンドロームとは、内臓まわりに脂肪がたまり、お腹まわりが太くなった状態に加え、血糖・血圧・中性脂肪の数値に2つ以上の異常がある状態をさします。この状態を放っておくと動脈硬化が急速に進行し、心筋梗塞や脳卒中など命にかかわる生活習慣病を引き起こします。

内臓脂肪は、運動や食生活の改善で、減らすことができます。

健診とその後を実施される特定保健指導で、内臓脂肪を減らし、スリムなウエストと健康を手に入れましょう。

75歳以上の方の健康診査について

後期高齢者医療保険制度に加入されている方（65～74歳の一定の障害を持つ方を含む）については、広域連合が実施することになっておりますが、後期高齢者に身近な町で実施することとなりました。

対象は、糖尿病・高脂血症等の生活習慣病の早期発見を目的とし、普段、生活習慣病で医療機関にかかっていない方や年間未受診者が対象となります。

なお、受診機関は医療機関（施設健診）となります。

特定健診・基本健診の日程

日にち	曜日	健診内容	会場
7月25日	(金)	特定健診 (40歳から69歳)	健康福祉センター
7月28日	(月)		
7月29日	(火)		
7月30日	(水)		
7月31日	(木)		
8月26日	(火)	※70歳から74歳は施設健診	清水ふれあいセンター
8月27日	(水)	基本健康診査 (30歳から39歳)	健康福祉センター
8月28日	(木)		
8月29日	(金)		

平成20年度からの基本健康診査・特定健診等

	30歳から39歳	40歳から74歳		75歳以上
健診の種類	基本健康診査	特定健診		後期高齢者医療制度による健診
加入している保険区分	区分なし	国民健康保険	健保組合・共済組合等	神奈川県後期高齢者医療広域連合
山北町が実施	○	○	×	○
自己負担	1割程度	1割程度	会社等の健康保険組合	なし
担当課	健康づくり課	町民課		福祉課
周知方法	詳細は、6月頃の広報でお知らせします。	対象者には、4月中旬に個別に通知いたします。		7月以降に、対象者には、個別に通知します。

問い合わせ先

- 国民健康保険に加入者の方
(40歳から74歳までの方)
町民課 (電話) 75-3641
- 山北町にお住まいの30歳から39歳の方
および生活保護世帯
健康づくり課 (電話) 75-0822
- 山北町にお住まいの75歳以上の方
福祉課 (電話) 75-3644
- 他の保険者に加入されている40～74歳以上の方
および扶養者の方
勤務先等にお問合せください



その他の検診の実施について
山北町では、肺・胃・大腸・乳・子宮の各種がん検診と結核検診・肝炎ウイルス検査を実施しています。がん検診・結核検診等は昨年同様に実施します。詳しい内容は、町民カレンダーおよび広報やまきた等でお知らせします。

まちの魅力をPR！
**山北の
 観光写真
 コンクール**



尾根の雲海と霧氷
 両角 泰 (南足柄市)

平成19年度「山北の観光写真コンクール」の審査が行われ、18点の入賞作品が決定しました。

このコンクールは、町観光協会と(財)町環境整備公社の主催で、町の観光振興に広く活用するための写真を募集するものです。

今年のコンクールには171点(57名)の応募がありました。

(敬称略)

◆推薦

尾根の雲海と霧氷 両角 泰 (南足柄市)

◆特選

初冬の世附川 武藤滋 (秦野市)
 打合せ 杉村雄二 (上本村)
 輝緑に包まれて 上浦敏之 (東京都)

◆丹沢湖賞

秋晴れの丹沢湖 石井清一 (横浜市)

◆山北の滝賞

洒水の滝コースへハイキング 添田英治 (二宮町)

◆入選

ダムサイト 飯田清己 (秦野市)
 丹沢湖の秋 中村雄二 (秦野市)
 市間の道行き 中嶋亨一 (小田原市)

◆佳作

滝不動火祭り 矢澤幸三 (尺里中)
 光の競演 石川二六 (堂山)
 昼下がり 相原豊子 (湯坂)
 紅葉の千代の沢 増田淳子 (平塚市)
 湯触溪谷 川島康二 (川崎市)
 山頂からの絶景 飯田恒雄 (松田町)
 わたし達もできるかな 岸村朝弘 (秦野市)
 伝統を継ぐ子 佐藤勝美 (南足柄市)
 丹沢湖花火の思い出 佐々木英輔 (横浜市)



戸籍届出等における本人確認について

最近、第三者が本人になりすまし、戸籍届出や住民異動届を行うといった事件が全国的に発生しています。このような虚偽の届出を防止するため、町では、戸籍届出や住民異動届、各種証明書の交付の際に、窓口に来られた方の本人確認を実施しています。皆様の大切な情報を保護するため、お手数をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

● 本人確認を実施しているもの

戸籍届出 ……届出によって効力が発生する婚姻、離婚、縁組、離縁 (平成20年5月1日から認知も含まれます)

住民異動届 ……転入、転出、転居、世帯変更

各種証明書の交付 ……戸籍謄(抄)本、住民票の写し、印鑑登録証明書等

印鑑登録回答書の提出

● 本人確認の方法

窓口に来られた方について、下記の書類で確認させていただきます。

1種類で確認できるもの ……運転免許証や旅券(パスポート)、身体障害者手帳、住民基本台帳カードなどの官公署が発行した写真が貼付されている証明書等

2種類で確認するもの ……健康保険証や介護保険証、年金手帳などの写真が貼付されていない証明書等

● 戸籍届出及び住民異動届は、本人確認ができない場合でも受け付けることができますが、届出が受理された旨の通知を住所地に送付いたします。

● 死亡届の届出人について

平成20年5月1日より、後見人、保佐人、補助人及び任意後見人も死亡の届出ができるようになります。ただし、届出の際に、その資格を証明する書類(登記事項証明書等)の提示が必要となります。

☆問合せ 町民課町民班 (電話) 75-3641

県西地域合併検討会情報 その5

～合併したらどんなまちになるの?～

2市8町で構成する県西地域合併検討会では、約1年をかけて、市町村合併のメリット・課題の整理、主要な事務事業の調査、さらには各市町の「強み・課題」の抽出、財政推計などを行ってききましたが、今回は、県西地域の将来像についてお伝えします。

県西地域の将来像は

豊かな自然資源と高度な都市機能などの各市町の特長やそれぞれが有する「潜在力」を最大限に発揮することによって、多くの可能性を秘めた新たな都市を目指します。

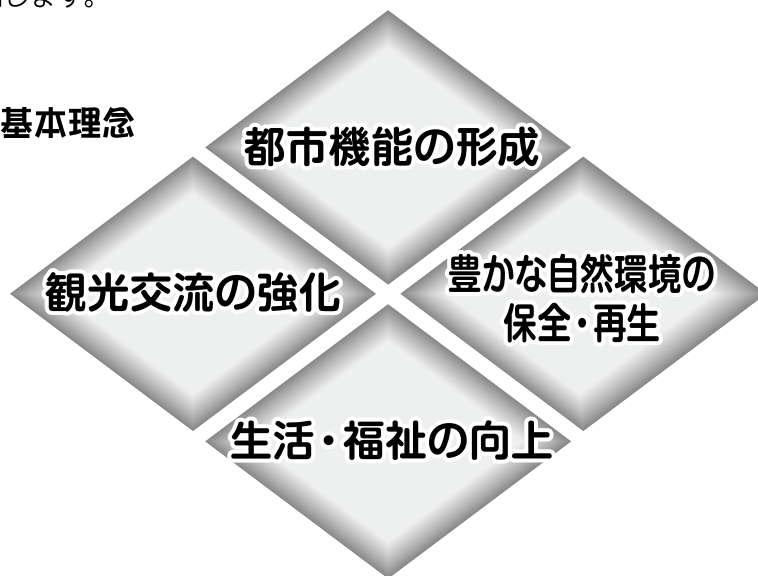
● 県西地域の将来像

力みなぎる交流都市

～豊かな資源を活かし、活発な交流を生む自律した地域へ～

- ◇歴史・文化・自然などの豊かな地域資源を活かすとともに、魅力ある都市機能を集積することで、観光客の増加や地産地消の推進など人・物・情報の活発な交流を生み出し、すべての住民がまちの主役として活躍し、生き生きと希望を持って暮らせるまちを目指します。
- ◇そこで暮らす人々は共に支え合い、心豊かに健康で安心して暮らせる、人に優しいまちを目指します。
- ◇歴史を感じさせる都市の風格と新たな可能性に向けた都市の近代化が調和した、生活感溢れるまちづくりを目指します。
- ◇豊かな自然環境を貴重な財産として守り、住む人・訪れる人にとって心満たされる故郷のまちを目指します。

● 県西地域の基本理念



将来都市像を含めた県西地域合併検討会における検討結果報告書については、ホームページ (<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/gappei/>) にて閲覧することが出来ます。また、報告書の概要版を6月頃に各世帯に配布する予定です。

【問合せ】 政策室政策班 (電話) 75-3651

町民の安全は、

私たちが 守ります



町民の生命と財産を守る山北町消防団。平成20年度の新幹部をご紹介します。

(敬称略)



▼団長

佐野 益久(上清水)
小澤 彰夫(萩原下)
佐藤 光重(箒沢)

第12分団 豊田 里己(尾崎)
第14分団 佐藤 貴浩(箒沢)
第15分団 諸星 勝彦(玄倉)

▼分団長

第1分団 岩田 光浩(萩原)
第2分団 瀬戸 茂(田中)
第3分団 山崎 進一(宿)
第4分団 原 秀治(宿)
第5分団 羽田 京三(高松)
第6分団 古瀬 直也(平山)
第7分団 瀬戸 信彦(鍛冶屋敷)
第8分団 藪田美紀夫(嵐)
第9分団 渡辺 英知(谷戸諸淵)
第10分団 鈴木 寿海(大蔵野)
第11分団 小笹 伸行(川西平山)

▼分団長

第1分団 栗田 功(萩原下)
第7分団 小澤 正治(都夫良野)
第9分団 岩井 清一(峯下)
第10分団 山崎 康博(大蔵野)
第11分団 福野 学(川西平山)
第14分団 細川 公一(畑)
第15分団 磯田 正光(玄倉)

なお、退団された幹部の方々は次のとおりです。

副町長・収入役の 退任・就任



3月17日に開催された町議会第1回定例会で、宮地の原憲司氏(60歳)を副町長に選任することについて同意されました。任期は平成20年4月1日から平成24年3月31日までです。なお、副町長の清水正己氏(65歳)、収入役の細谷英雄氏(62歳)が3月31日付で辞職されました。

※地方自治法の改正により収入役制度は廃止されましたので、細谷収入役の後任はおりません



清水正己副町長が辞職

3月31日付で、清水副町長が辞職されました。清水氏は、平成11年3月に収入役に就任し、平成14年6月に助役に就任、平成18年に再任されるなど、特別職として町の発展のために尽力されました。

※平成19年4月に助役から副町長に名称変更



細谷英雄収入役が辞職

3月31日付で、細谷収入役が辞職されました。細谷氏は、昭和39年に山北町役場に入庁し、税務課長、企画総務部長などを歴任。平成14年6月に収入役に就任し、平成18年に再任されるなど、44年にわたり町の発展のために尽力されました。



副町長に原憲司氏

清水副町長の辞職により、宮地の原憲司氏が副町長に就任しました。原氏は、昭和41年に山北町役場に入庁し、水道課長、産業観光課長、総務課長、企画総務部長、参事兼企画財政課長などを歴任しました。

マタニティ通信

山北町
健康福祉センター
山北町山北1971-2
(電話)75-0822
(FAX)76-4592

妊婦健康診査を受けましょう！



平成20年4月から妊婦健康診査受診票を今までの2回分から5回分お渡しします

妊娠したら、
ぶついたらどうなの？

妊娠がわかったら、健康福祉センターの窓口で妊娠の届を行ってください。

窓口では、母子健康手帳を交付します。保健師による相談や母親・父親教室の紹介、情報提供等を行います。

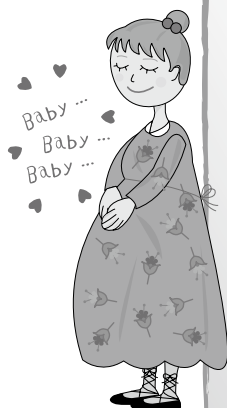
- ・妊婦健康診査は少なくとも
- 妊娠23週まで ↓ 月1回
- 妊娠24週以降 ↓ 月2回
- 妊娠36週以降 ↓ 週1回

医療機関で受けましょう。

妊婦健康診査を公費で受けられる妊婦健康診査受診票を5回分お渡しします。

すでに、母子健康手帳を発行している方には回数に応じて受診券を送付します。

妊婦健康診査って何をすればいいの？



妊婦さんの健康状態や、お腹の赤ちゃんの育ちをみるため、身体計測や血液・血圧・尿などの検査をします。

特に、貧血や妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病などの病気は、お腹の赤ちゃんの発育に影響し、母体の健康を損なうことがあります。

妊婦健康診査を受けることで、病気になる前に早く気づき、早く対応することが出来ます。

次のような症状が出たら
早く医師に相談を！

▲ 気をつけたい症状 ▲

<input checked="" type="checkbox"/> むくみ	<input checked="" type="checkbox"/> がんこな便秘
<input checked="" type="checkbox"/> 腹痛	<input checked="" type="checkbox"/> 強い頭痛
<input checked="" type="checkbox"/> 発熱	<input checked="" type="checkbox"/> つわりで衰弱がひどい
<input checked="" type="checkbox"/> 下痢	<input checked="" type="checkbox"/> イライラ
<input checked="" type="checkbox"/> めまい	<input checked="" type="checkbox"/> 動悸が激しい
<input checked="" type="checkbox"/> はきけ	<input checked="" type="checkbox"/> 今まであった胎動を感じなくなったとき
<input checked="" type="checkbox"/> 強い不安感	



働いている妊婦さんへ

働いている妊婦さんを支援するさまざまな制度があります。

詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。



<http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/index.html>

妊婦さんへの思いやり

- 「電車・バス等では、優先して席を譲る」
- 「近くでの喫煙を避ける」
- 「お手伝いしましょうか？のやさしい一言」

マタニティマークは、厚生労働省のホームページからダウンロードできます。



<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2006/03/h0301-1.html>

母子健康手帳交付時に
マタニティマークの
キーホルダーを
配布しています！



妊娠中、特に初期は、妊婦であるかどうか判断しにくかったり、「つらい症状」がある場合もあります。マタニティマークをつけているお母さんを見かけたら、思いやりのある行動をお願いします。

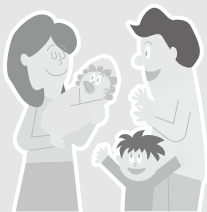
マタニティマークを
知っていますか？

お父さん 若原 智也さん

お母さん さおりさん

しゅん
舜くん 3歳

ゆい
由依ちゃん 0歳



子育てっていいね!

若原さん
ご家族
<上本村>



我が家は舜が1歳4か月になるころ
 山北に引越して来たのもうすぐ2年
 が経ちます。最初のころは近所に予
 どもがいなくて公園に行っても貸し切り
 状態で寂しいなあと感じていました。
 でも徐々に環境に慣れ散歩に出れば近
 所の方が声をかけてくれたり、お菓子
 をくれたりして、舜も小さな事から人
 との触れ合いが楽しみになったよう
 今では自分から「おはよう〜」と元
 気に挨拶が出来るようになりました。
 また、子育て支援センターには異年齢
 の子どもが沢山いるので行くのが楽し
 みのようです。

気が小さく寂しがり屋で甘えん坊の
 舜も妹の由依が生まれた事でずいぶん
 と成長しました。由依が泣いていれば
 「由依ちゃんこんなのが好きだと思っ
 よお」とオルゴールをそばで回したり、
 リンリン鳴るおもちゃを手に握らせた
 り、自分が食べているパンなどを小さ
 くちぎってお口に入れたり。ウンチの
 ときはお尻拭きとオムツをピュ〜と
 持って来て「ママ助かったちゃう?」と
 (笑)。由依に手がかかる分、褒めら
 れようと「もう3歳のお兄ちゃんだか
 ら!」と頑張っています。その反面人
 から言われる事を気にしすぎるところ
 があり、ちょっと注意されるだけで泣
 いてしまったり、周囲の方からもおと
 なしいねと言われます。でも、主人の
 影響で小さなころから車雑誌やレー
 スの映像と一緒に見ていたのでおもちゃ
 の車に乗って外でも、家の中でもガン
 ガン飛ばしている時の顔は…、やっぱ
 り男の子! あっという間に車のメー
 カーや名前を覚え、本屋に行きたいと
 言い幼児本のコーナーに連れて行っ

ら「ここじゃない!」と、選んできた
 本は車雑誌でした。そして「大人に
 なったらフォンプォンってうるさく
 てすこい車に乗るんだあ」といつも
 言っています。憂うつになります。ま
 たイスズのトラックのCMの歌が大好
 きで流れるといつも熱唱しています。

由依はあっという間に9か月にな
 り、よく笑いよく声をあげ面白いハイ
 ハイで素早く部屋中を移動し、大人し
 い時は大抵好物の紙を黙々と食べ(と
 りあげられては泣き)、日々成長して
 元気いっぱいに育っています。

舜は4月から幼稚園。心配な事だら
 けですが、お友だちと楽しく過ごせる
 ようになってくれればいいなと願っ
 ています。

子どもたちが元気に育っているの
 も、多くの方の温かい支えがあるお
 かげと感謝しています。人からもらっ
 た温かい気持ちを大切に優しくて元氣の
 ある子に育って欲しいと思っています。

(お話は、お母さんのさおりさん)

山北町交通安全対策協議会が 交通安全表彰を 受賞

山北町交通安全対策協議会
 が平成19年度交通安全表彰を
 受賞しました。これは、年間
 の交通事故死者数を「ゼロ」
 に抑止した団体に送られるも
 ので、2月4日ワークショップ
 浜で開催された、神奈川県交
 通安全対策協議会総会で表彰
 されました。

山北町交通安全対策協議会
 では、これからも、交通事故
 防止活動に積極的に取り組ん
 でいきます。



お誕生おめでとう

地区	赤ちゃん	性別	保護者(敬称略)
台	佐藤 泰斗	(男)	茂樹・幸恵
越地	内田 優来	(女)	英治・真由美
宿	石田 留輝	(男)	晴男・一美
焼津	伊倉 柊斗	(男)	剛・未空

善意の窓

匿名希望様

健康福祉センターでの事業資金として

→50,000円

今月の町の動き

4/3	わかば・向原保育園入園式
7	小・中学校入学式
8	幼稚園入園式
29	大野山開き

町の人口と世帯 (3月1日 現在)

()内は前月比

男	6,131人	(-8人)
女	6,396人	(-6人)
計	12,527人	(-14人)
世帯数	4,195世帯	(-1世帯)

まちのデータ

2月の降雨量		2月の平均気温	
山北	55mm (53mm)	山北	2.5°C (6.1°C)
三保	45mm (73mm)	三保	2.3°C (5.0°C)

※ ()内は平成19年の数値 山北の気温は、皆瀬川浄水場での測定値

おくやみ申し上げます

地区	氏名	性別	年齢	世帯主(敬称略)
馬場	田代 クミ子	(女)	91歳	本人
田中	荒井 政雄	(男)	94歳	〃
中清水	竹内 光雄	(男)	72歳	〃
鶴野	諸星 恒治	(男)	77歳	〃
湯坂	津田 雪枝	(女)	84歳	〃
尺里東	湯川 為三	(男)	79歳	〃
鍛冶屋敷下	瀬戸 利夫	(男)	88歳	〃
神玄	飯田 恒夫	(女)	66歳	〃
畑倉	菅野 幸江	(女)	74歳	〃
畑	鈴木 勝夫	(男)	76歳	〃
田中	荒井 静江	(女)	68歳	耕平
深沢下	岩本 仁子	(女)	91歳	崇

※今回の掲載分は、平成20年2月16日から3月15日までに受付したものです。なお、掲載を希望されない場合は、届出をされる際に申し出ください。





いきるまがし

啓塾や「ムコウノウチ」という離れ倉持祐浩

(評) 啓塾とは三月六日ごろ、冬眠から覚めた虫たちが姿を現わしはじめること。春らしくなって少しウキウキした気分。心の軽くなる様をムコウノウチと片仮名書きで表現した佳句と思う。(中山 妙子記)

合槌の少ない電話春寒し
早春の海を白帆が駆けて行く
ゆつくりと行くしかないか菜花摘む
ランドセル爺の期待の重さかな
冬の空遠嶺に星を捨てて去る
手まり麩の浮かぶ吸物難まつり
パレントイン婆にも届く玉手箱
黒板に蒸気はりつく春灯
身を尽くし今日の幸せ梅の白
声出して欠伸する犬春の朝
啓塾や仕切の多き皮財布
すみれ草富士山麓のミルクパン
延命は要らぬと決めて春の雷
身の丈を超える生き方寒の水
鰯の目や青海原の光持つ
万華鏡過ぎし日追いな春の夜
山頂のさあくらさくら人呼びぬ
ハチ公も雪を被りて人を待つ
山笑う鳴子こけしの首が鳴
いぬふぐり小さく光る相模湾
とつくりがころがつてくる梅の宿
弟が試す園服山笑う
朝刊のチラシが増えし二月尽
春の湖箱根神社の朱の鳥居
深々と広がる夜空や寒昂

井上柳	稲葉湖	板谷末	古瀬芳	金子房	野地和	池田良	武尾子	瀬戸恵	増澤江	小塚英	小栗無	内田湘	竹下由	和田美	石田加	関田幸	吉田誠	瀬戸余	尾崎幸	田代竹	水野徳	尾崎重	高橋秋	露木一
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----



町バレー祭



3月2日、山北中学校体育館で町バレー祭が開催されました。町内で活動しているバレーボールチーム男子2・女子6チームが出場しました。



選手たちは日ごろの練習の成果をプレーで発揮、白熱した試合展開に会場は大いに盛り上がりました。

なお、大会の結果は次のとおりでした。

◆男子の部

優勝 山北倶楽部
準優勝 31チーム

◆女子の部

優勝 山北クラス
準優勝 山北あざみ
3位 岸クラス
3位 アクティス

第53回 山北町内一周駅伝競走大会

3月16日、山北町内一周駅伝競走大会が開催されました。この大会は、昭和30年の山北町合併を機に始まったもので、今年で53回目を迎えました。

今年も、町内各ブロックに加え、山北高等学校のチームなどがオープン参加し、全10チームにより行われました。レースは向原Aチームが優勝し、3連覇を果たしました。

なお、大会の結果は次のとおりです。

優勝 向原A
準優勝 岸
第3位 山北第3



向原Aチームメンバー (敬称略)

1区 荻野 勝宣
2区 境田 涼平
3区 佐藤 尚文
4区 相原 俊介
5区 中戸川 晃一
6区 松澤美由紀
7区 白井 俊祐
8区 瀬戸 竜介
9区 佐藤 駿平

小保木製作所が かながわ新エネルギー賞を受賞

株式会社小保木製作所が、第5回かながわ新エネルギー賞を受賞しました。

小保木製作所では、平成18年の諸洲工業団地への新工場建設に併せ、工場屋根に中小企業としては大規模な100kWの太陽光発電施設を設置するなど、地球温暖化防止対策のための太陽光発電施設の導入と普及開発活動などの取り組みが評価され今回の受賞となりました。



地域作業所に 「24時間テレビ」福祉車両が 寄贈されました

障害をもつ方々の就労支援のため作業訓練等の活動を行っている山北町地域作業所に、「愛は地球を救う」をキャッチフレーズにした「24時間テレビ」チャリティー委員会から福祉車両（リフト付きバス）が寄贈されました。

地域作業所では、この車両を通所者の送迎用に活用していきます。



役場各課の 直通電話番号と メールアドレス

会計室 75-3640
kaikei@town.yamakita.kanagawa.jp
町民課 75-3641
tyomin@town.yamakita.kanagawa.jp
税務課 75-3642
zeimu@town.yamakita.kanagawa.jp

福祉課 75-3644
fukusi@town.yamakita.kanagawa.jp
生活環境課 75-3645
seikatu-kankyo@town.yamakita.kanagawa.jp
産業観光課 75-3646
sankan@town.yamakita.kanagawa.jp
都市整備課 75-3647
toshi@town.yamakita.kanagawa.jp
企画財政課情報管理班 75-3650
johou@town.yamakita.kanagawa.jp
生涯学習課 75-3649
gakusyuu@town.yamakita.kanagawa.jp
学校教育課 75-3648
kyoiku@town.yamakita.kanagawa.jp

政策室 75-3651
seisaku@town.yamakita.kanagawa.jp
企画財政課 75-3652
kikaku-zaisei@town.yamakita.kanagawa.jp
総務防災課 75-3643
soumu-bousai@town.yamakita.kanagawa.jp
議会事務局 75-3653
gikai@town.yamakita.kanagawa.jp
健康づくり課 75-0822
kenkou-c@town.yamakita.kanagawa.jp
清水支所 77-2404
bran-simizu@town.yamakita.kanagawa.jp
三保支所 78-3006
bran-miho@town.yamakita.kanagawa.jp